

**地域提案型**

**平成19年度 採択内定案件**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	インドネシア
2. 事業名	バンドン市廃棄物処理計画策定支援
3. 事業の背景と必要性	<p>バンドン市は西ジャワ州の州都であり、人口は約250万人を抱えるインドネシア第3の都市である。また、インドネシアの主要な大学が立地する学園都市であり、繊維産業を中心に工業も盛んである。近年の経済発展に伴い人口が増加し、それに伴い年々増加する一般廃棄物の処理が市の緊急かつ重大な課題となっている。特にゴミ問題に対する市民の意識や参加が欠如していることや、国及び地方レベルでの廃棄物処理に関する規制が存在しないことが課題とされている。</p> <p>これまで、浜松市の民間交流団体「浜松インドネシア友好協会」とバンドン市の交流団体「ブルサダ（日本留学経験者）」との熱心な活動により、バンドン市幹部による浜松市の視察、浜松市議会議員団によるバンドン市視察などの相互交流が行われてきた。その中で、上記のバンドン市におけるゴミ問題の現状にかんがみ、バンドン市から浜松市の廃棄物処理計画の策定、推進に関するノウハウの移転に関する要望が出された。これを受け、浜松市は平成19年7月に浜松市職員（企画部国際課長及び環境部資源循環推進課長）をバンドン市に派遣し、ゴミ収集状況などの廃棄物処理の現場を視察するとともに、バンドン市側と技術協力についての協議、検討を行い、平成20年度の草の根技術協力（地域提案型）として採択されたものである。</p>
4. 事業の目的	具体的な廃棄物処理計画の策定に向け、バンドン市における廃棄物処理システムの改善点が整理されることを目的とする。
5. 対象地域	インドネシア国 バンドン市
6. 受益者層	バンドン市全域
7. 活動及び期待される成果	<p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>バンドン市の研修員が日本における廃棄物処理や環境政策を学び、浜松市の廃棄物処理システムやごみの減量化への取組みを理解する。</li> <li>バンドン市における廃棄物処理システムの改善点を整理し、具体的な廃棄物処理に関する行動計画などを作成する。</li> </ol> <p>活動</p> <p>&lt;研修員受入（第1年次：2名）&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>浜松市の廃棄物処理システムやごみ減量化への取組みについての講義</li> <li>浜松市の都市計画策定、ごみ処理計画策定の実務体験</li> <li>浜松市民のごみ分別活動状況の視察</li> <li>大学において、都市政策・都市計画などの理論指導</li> <li>廃棄物処理システムの改善案の作成</li> </ol> <p>&lt;専門家派遣（第2年次：2名）&gt;</p> <p>廃棄物処理計画の策定のため、第1年次に受け入れた研修員に対して補完的な指導を行う他、市民（特に子供たち）を対象に、正しいゴミ処理についてのセミナーを開催する。</p>
8. 実施期間	平成20年10月～平成22年3月
9. 事業の実施体制	浜松市国際課が調整機関となり、同市環境部資源廃棄物政策課他関係部署、組織と連携、調整のうえ実施する。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	静岡県浜松市（静岡県浜松市）
2. 対象国との関係、協力実績	I. 3. に記載の通り、バンドン市幹部による浜松市の視察、浜松市議会議員団によるバンドン市視察などの相互交流が行われ、その中で出された要望に基づき平成19年7月には浜松市職員をバンドン市に派遣し、技術協力についての協議、検討を行った。